吹上峠駐車場～登山口～大平山～塔ヶ峯への分岐～塔ヶ峯～

林道塔ヶ峯線～小穴十字路～鞍外し～平尾石仏～吹上峠駐車場

吹上峠駐車場からの 塔ヶ峯

2021年3月6日

さあ今日はどこを歩こうか？と平尾台マップを見ながら話していると、「ここに行こう！」と家内が指差したのが、平尾台の異端児と称される塔ヶ峯だった。しかも大平山から痩せ尾根を使うルートで行きたいと言う。私も未踏のルートだったので不安がよぎるが、危ないようだったら無理せず引き返すことを肝に銘じ、歩いてみることにした。

急斜面や不規則な岩塊の難関突破で、やっと辿り着いた塔ヶ峯展望台

＜コース概要＞

1、吹上峠駐車場　11時09分～　2、登山口　～　3、大平山　～　4、塔ヶ峯への分岐　～
5、塔ヶ峯　～　6、天狗の舞台　～　7、塔ヶ峯展望台　～　8、天狗の舞台　～　9、塔ヶ峯　～
10、林道塔ヶ峯線　～　11、小穴十字路　～　12, 小穴　～　13、鞍外し　～　大平山山腹　～
14、平尾石仏　～　15、吹上峠駐車場　15時17分

1、吹上峠駐車場　11時09分　スタート

駐車場に到着したのは11時ジャスト。多少黒い雲は見られるが、お天気は終日曇り予報。

ルート確認

駐車場の階段を下り

道路を渡って斜め前の登山口へ

2、登山口　11時12分　いい感じ

咲き始めの菜の花？が綺麗

先ずは大平山を目指す　11時13分

シロバナタンポポがあちこちに

登り始めは元気だが・・・　11時17分

急登を一気はちょっと辛い　11時20分

上ってきた道を振り返ると、吹上駐車場と馬の背台、そして遠くに福智山　11時21分

ジグザグ道を時々ショートカット　11時22分

大平山が見えたら一息ついた　11時26分

あれっ～上空に黒い雲が広がっている。大丈夫かな～。　11時31分　気にしながら進む

かわいい子羊たちを愛でながら

九州自然歩道を上って行く　11時35分

小さな花に元気をもらって

足取りも軽くなってきた　11時41分

振り返ると、「もうこんな高いところまで上って来たのか」と、ちょっと感動　　11時47分

そろそろ山頂かな？　11時48分

オオイヌノフグリがたくさん咲いている

3、大平山　11時52分　586m

登山口から山頂まで40分だった！

少し休んで大平山を出発！　11時59分　雄大な平尾台の眺望に気分MAX

柵のある場所を通り過ぎると　12時01分

分岐と塔ヶ峯が見えてきた　12時02分

この分岐は直進　12時02分　貫山方面へ

右に下れば中峠や茶ヶ床園地へ

分岐を過ぎて少し歩くと貫山と四方台への急登が正面に　12時04分

少し左にカーブしながら下って行くと目の前に手作りの小さな道標　12時05分

自分の目線にある小さな道標

4、塔ヶ峯への分岐　12時06分

「目印テープ頼りの山道です。」と注意書きがしてある。これから谷越えに挑戦！

峰×→峯〇

さあ、ここからが今日の本番！　以前一度、H師匠と林道から塔ヶ峯の山頂を踏んだことはあるが、この痩せ尾根を利用してのルートは初めてである。地形からしてかなり鞍部まで下って、また上り返して、という行程が容易に想像出来る。初めての道なので不安になるが、とにかく、テープを見失わないように、行けるところまで行ってみようの精神で、このルートに足を踏み入れた。初心者の方や特に単独行の方は、登山経験者同行で歩くことが無難だと思う。

背丈ほどある藪の洗礼を受け　12時06分

さっそく吸い込まれるように谷底へ

急斜面に戸惑ってしゃがみ込む、これは大変だ！　12時08分　　本気モードで下り坂に挑む

大きな岩の横をすり抜け・・・

両サイドの木々を握り締めながら下る

少し道が平坦になった場所で　　12時12分

塔ヶ峯の手作り標識を見つけた

森はだんだん暗くなる　12時13分　必死

最低鞍部に辿り着いた　　12時16分

赤テープを頼りに進んで行くと　12時19分

塔ヶ峯に向かって上り返しとなった

ジメジメとした谷底で苔生す石灰岩

やっぱり白い子羊の方が可愛い

古びた標識を発見　　12時22分

「塔ヶ峯→」の表記に従って進む

一旦下るが　12時23分

急斜面をまた上る　12時25分

空が見えて明るくなった　12時28分

大平山の後ろ姿(表側と全く様相が異なる)

ヤブツバキの花が点々と落ちている

急斜面が終わり一息つきながら歩く

手作り標識を見つけたと思ったら･･･

すぐ前に山頂碑が･･･12時37分

5、塔ヶ峯山頂　12時38分　582m

大平山にある塔ヶ峯への分岐から32分だった。意外と早く到着した。

水分補給

周囲は木々に囲まれて展望は全くない。山頂碑の上に展望台へ案内する手作りの標識があり、「約10分で先端の岩に至ります」と表示してあった。勿論行ってみることにした。

ところで、広い平尾台の台地を南北に挟んで「とうがみね」が2座あることをご存じだろうか？一つは本日歩いている北側の「塔ヶ峯」582m（地元では井手浦の塔ヶ峯と呼ばれているらしい）。そしてもう一つは、行橋方面になるが南側の「塔ヶ峰」396m（地元では行橋の塔ヶ峰と呼ばれているらしい）である。「みね」の一文字が違っているだけなので、気が付いていない方も多い。自分もつい最近までその一人だった。

ルンルン♪で歩く　12時39分

ヤブツバキの落花に気を良くしながら平坦な道を進んでいると・・・

突然大きな岩が行く手を遮る　12時44分

艱難辛苦を乗り越えて・・・人生のようだ

6、天狗の舞台　12時46分

岩を乗り越え進んで行くと、右側上部の標識に気が付いた。それは・・天狗の舞台だった。

これも手作り

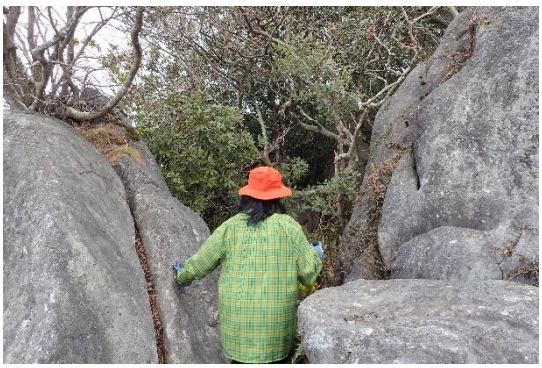
天狗の舞台からの風景だが、霞んでいて何が何だかよくわからない（残念）

岩塊突破！　12時47分　天狗の舞台で風景を眺めていると、家内がもう先へと進んでいる。
ここからの岩場は一層厳しさを増すことになる

苔生す岩には気をつけて　12時50分	大きな岩を攀じ登る　12時51分

7、塔ヶ峯展望台　12時54分　塔ヶ峯山頂から16分でようやく到着。ここで行き止まり。
左側を見ると、馬の背台に竜ヶ鼻、右奥に福智山の稜線が見えている。

展望台でおにぎりタイム 	よくここまで辿り着いた。我々にとっては、険しい道のりだったが、何とか無事に登頂。実はここに到達するまで、若い男女、それぞれ単独行の登山者と出会った。挨拶を交わしたが、二人とも山好きで気さくな方だった。塔ヶ峯は平尾台らしくない山だが、一通り平尾台を歩いたら、気になって挑戦したくなる山。そんな存在かもしれない。



展望台を後にする　13時04分

休憩も10分そこそこで下山に取り掛かった。再度岩場に挑む。

苔生す岩は石灰岩

8、天狗の舞台　13時10分

天狗の舞台に立って景色を眺める。開放感たっぷりで、いつの間にやら踊りだす。

お見事！

9、塔ヶ峯　13時19分　582m

展望台から塔ヶ峯まで15分。やっと厳しい岩場を抜けてホッとしたのだが・・・。

塔ヶ峯　山頂碑

この山頂から道が二つに分かれる。一つは上りに使った大平山からの痩せ尾根ルート。もう一つは山頂から塔ヶ峯の裏側にある、林道塔ヶ峯線に下るルートである。我々は往路を下るのではなく、林道に出るルートを選択。この道が一部かなりの急斜面で苦労することになった。

山頂が分岐になっている　13時20分

ここは山頂。大平山から上って来た痩せ尾根ルート(青矢印)は右からだったが、これから林道に下るルート(オレンジの矢印)は、左に進むことになる。林道に下るルート方向には道標はないが、しっかりした踏み跡があり、赤テープもあるので簡単にわかると思う。

さあ、気をつけて下ろう！

赤テープに沿って歩いて行く　13時22分

大きな岩を乗り越えると　13時24分

下り一辺倒になってきた　13時25分

次第に斜度は増し、滑り易い　13時26分

「ありがとう」の黄色いテープ　13時28分

この場所は段差が大きくしかもヌルヌル。この木をしっかり掴むことで安全に下ることが出来た。この木に助けられたと言う気持ちで、「ありがとう」と、誰かがこの木にお礼を書いたのだろう。実際我々もこの木を握り「助かった、ありがとう」と言う心境になった。そんな解釈でよいのかな？

急斜面の試練は続く　13時29分

足場を確認 「も一嫌だ！」 12時32分

やっと希望の光が…林道だ！　13時36分

林道に飛び出した　13時37分　右へ

10、林道塔ヶ峯線　13時37分

「こんな所から出てきたんだ」と不思議そうに登り口を見上げる。道標はなく、赤テープと白いビニールが枝に結んであるだけだ。

分かり難い

林道塔ヶ峯線　13時39分

取り付き地点から左を見ると林道が続いている。この林道を下って行けば、小倉南区の長野緑地に通じるはずだが、歩いたことはない。

我々は帰路を小穴経由と決めているので、この先すぐの林道支線に入って、小穴十字路を目指すことになる。

ガードレール部分を通過　13時40分

すぐに林道支線が現れる　13時41分　右へ

この林道を右の支線に入らす、まっすぐ進めば、貫山直下の林道出会いに続いている。

林道支線に入る目印　13時41分

この支線入口に黄色の保安林と緑色の水源の森の標識があるので目印になる。

草に隠れ気味

杉の枯れた落ち葉で林道支線はフッカフカ。さっきの急斜面のリハビリだ。 13時43分

右側には大穴があるはずだが、残念ながら樹木で見えない。　13時47分

林道支線から小穴十字路へ　13時52分

支線入口から10分ほど歩くと道標(赤矢印)が見えてくる。同行者とおしゃべりしてたら見過ごしてしまうかもしれないので注意！

ところで、この林道支線はどこに続いているのだろう？と疑問が湧いてくる。なので、もう少しそのまま300m程下ってみたが、結局何もわからす途中で引き返した。

小穴・中峠の道標に沿って　14時03分

この道標、見逃さないようにしよう！

駆け上がる

歩き易い一本道　　14時06分

右後方を見上げると塔ヶ峯　14時07分

前方が明るくなった　14時10分

11、小穴十字路　14時11分

見覚えのある場所に出た。「いつもの平尾台だ～。」 なんか夢から醒めたような感じだった。

左は四方台へ向かう急登

右は大平山へ向かう道

小穴十字路を直進　14時14分　小休憩

見慣れた平尾台に出て元気100倍！これより中峠方面へ下り、小穴の縁を歩く。

ヤシャブシの実

野焼き後の荒涼とした風景　14時16分　　小穴の縁を一本の道が続いている
野焼きで枯れ草が完全消滅。 きれいさっぱり丸裸状態だ！

12, 小穴　14時17分　壁面に連なる石灰岩がまるで鎧のようだ

ここも鉄管道だ！　14時17分

この小穴の縁を歩いていると、小穴十字路からこの道に沿って太い鉄管（赤矢印）が敷設されている。

水道管と思われるが、現在も使われているのだろうか？消火用なのか？

疑問を抱きながら先に進んだ。一度平尾台の歴史を調べてみようかな～。

小穴を過ぎる頃　14時19分

足下を見ると、黒い台地に黄緑色の息吹が萌えていた。それはフキノトウだった。

鮮やかな新緑

平尾台の牧場跡？　14時22分

以前平尾台では放牧がされていたと聞いているが、その時の名残の鉄柵だろうか？

キノコの類も・・・

岩山が正面に迫ってきた　14時24分

分岐に出会う　14時26分　右へ

この分岐から左に行くと、すぐにまた分岐に出る。そこから右は岩山を時計回りで回り込んで山頂へ到達する道。左はトラバース道で四方台・貫山へ進む道になっている。

岩山を左に見ながら歩く　14時26分

鉄製のゲート　14時29分　これも放牧跡？

吹上峠までのルートを思案　14時31分

我々のゴールは吹上峠駐車場。ここで地図を広げて思案の結果、鞍外しの先から山腹に入るルートでゴールを目指すことに。

製作途中のMAP

九州自然歩道　14時32分

左は中峠だが、大平山方面の右へ進む。

肌寒い

キス岩への分岐を通過　14時34分

刺激が強いのでパス(笑)

人気の岩

13、鞍外しを通過　14時36分

鞍外しの地名の由来は･･･そうか、牧場が存在した時代、ここが馬の鞍を外していた場所だったのか？と勝手に想像。

大平山方面へ

大平山の山腹へ　14時37分　左へ

鞍外しから約1分で山腹に入る支線がある。九州自然歩道の道標が目印となる。

これが目印

何度見ても素晴らしい羊群原　14時42分

大平山の山腹をトラバース　14時47分

耕運機の成れの果て　14時51分

前方に鉄クズになった車　14時58分

放置されて何年経つのだろう？

白い看板を通過　15時00分

耕作、道路拡幅、石灰岩の破壊行為禁止！

立て看板の注意書は、放置されボロボロになった耕運機や車が関係しているように思えた。

この場所から左へ下る　15時02分

これまでずっと山腹の道をまっすぐ歩いてきたが、ここから直角に左へ曲がり下の農道まで下ることにした。この場所には道標などないのでわかり難いが、下を見ると農道まで続いている道がクッキリ見えている。

赤土の斜面がVの字にえぐれているのが目印となる。

この道は少し前(2021/2/23)に、大平山の山腹を探索した際に発見したルートである。

Vの字にえぐれた道を進む　15時03分　この道を辿ると下の農道に出る

道はクッキリ、ハッキリ！　迷うことなく農道に向かっている。　15時06分

農道に出たら吹上峠方面の右へ15時07分

吹上峠駐車場が見えてきた　15時08分

平尾石仏が左前方に見えている　15時13分

14、平尾石仏　集められた石仏像

車道(県道28号)に出た　15時16分

車道では車やバイクにご用心。気を付けて車道を渡ろう。農道は一般車両進入禁止。

山道に一礼

15、吹上峠駐車場　15時17分

今日一日の達成感に浸りながらゴール！

大満足

今日は本当によく歩きました。スマホの歩数計は13205歩。所要時間は4時間08分でした。
平尾台では異彩を放つ塔ヶ峯。無事に登頂出来て良かった～。お疲れ様でした。

★同じ山とは思えないがどちらも塔ヶ峯★

とんがり帽子の山と知られる塔ヶ峯だが･･･

国道322号線、平尾台入り口交差点付近から見た塔ヶ峯

とんがり帽子のような姿を見せるのは、井手浦方面から見たときだけである。

吹上峠駐車場から下り、最初の急カーブ地点から見た塔ヶ峯

山頂が横広く台形状に見える

見る角度によって表情がこれほど変化するとは…面白い！